

開会	10:00	主催者挨拶 青森県競技力向上対策本部 事務局長 谷地村 克久
組織マネジメント 講習会 (10:05 ~12:00)	10:05 (30分)	講演1「スポーツ・インテグリティの確保に向けた取 組みについて」 講師：内海 隆博 氏 (スポーツ庁参事官(民間スポーツ担当) 付庶 務係長(併) スポーツ人材係長)
	休憩 10:35~10:45	
	10:45 (75分)	講演2「ジュニア育成と競技力強化への取り組み方」 講師：三ヶ田 礼一 氏 (岩手県文化スポーツ部スポーツ振興課 特命課長(アスリート強化))
昼休み(12:00~13:30)【13:00~13:30 午後からの参加者受付】		
強化担当スキル アップ研修会 (13:30 ~14:50)	13:30 (80分)	シンポジウム「天皇杯獲得のために取り組むべきこと ~いわて国体における取組例~」 ・進行役：本間 正行 氏 (弘前大学名誉教授・ 青森県競技力向上対策本部強化対策委員長) ・シンポジスト3名 三ヶ田 礼一 氏 (岩手県文化スポーツ部スポーツ振興課 特命課長(アスリート強化)) 塚田 美和子 氏 (岩手陸上競技協会理事・ 岩手県立盛岡第三高等学校教諭・ 日本陸上競技連盟強化スタッフ(競歩)) 佐藤 睦朗 氏 (岩手県ハンドボール協会会長、元岩手県ハン ドボール協会副会長兼強化担当)
休憩 14:50~15:00		
令和2年度 競技団体等代表者 会議 (15:00 ~15:40)	15:00 (40分)	令和3年度競技力向上関連事業等について (1) 青森県競技力向上対策本部から (2) 公益財団法人青森県スポーツ協会から
その他	15:40 (10分)	
15:50終了予定		

オンライン講義。スポーツ
ガバナンスウェブに団体
登録し、自己説明・公表を
行ってくださいとのこと。
いずれ都道府県の補助金
申請においても、必須条件
になる可能性があるとの
こと。

この手の講習会は、いつも
だといびきをかいて寝て
いる人もいますが、全
員真剣に聞いていました。
三ヶ田氏は岩手県出身、東
奥義塾→明治大学。ノルデ
ィック複合団体金メダリ
スト。お人柄も良く、話も
理路整然。

検討課題の3事業につい
ての資料をPDFにして、
添付します。

震災後5年目の岩手国体であったため、強化予算も半減されたため目標は8位以内入賞に引き下げら
田、しかし結果として総合2位。具体的な例をあげながらの苦労話に聞き入った。フェンシングついて
も触れていた。

《印象に残った話》

- ・選手の招聘について、民間・公務員の採用はあった。岩手に根付いて、その後も指導者と暮らしてほ
しいという観点を大事にしたが、うまくいかなかったケースも少なくない。県外選手の獲得について
は、タイミング。早くても遅くても良くない。厳しい冬を越せるかということも意外と北国では課題。
- ・ターゲットエイジの選手の発掘が大変。地道に体験会を実施し勧誘した。ある種目では、国体数年前
に少年男女の監督を決め、アドバイザーコーチを貼り付けた。良いコーチに出会えば指導力で選手は
伸びる。(ビデオ撮影。通常の練習もコーチの指導方法を踏襲)。とにかく競技人口が少ないので、小
中高、必ず合同で練習・合宿をして、競技力の向上を目指した。